

# 分会情報

J R 東海 労 大 阪 仕 業 検 査 車 両 所 分 会  
No. 1 7 7      2 0 1 7 . 3 . 2 3  
発行責任者      松本 幸一  
編集責任者      教 宣 部

## 大切なことは何？

### 業務より事情聴取を優先！？

### 要員一名減（代務者を立てず）を放置！！

3月8日、大阪仕業検査車両所で作業中のVCBスイッチ誤扱いがありました。担当者は直ちに川勝喜代孝助役に報告し、仕業検査は無事終わりましたが、当然にもこの社員には仕業検査終了後も引き続き他の作業がありました。

しかし、川勝助役はこの社員に対し、仕業検査終了後にVCBスイッチの誤扱いに関する事情聴取を行うために現場から庁舎への移動を命じたのです。

ヒューマンエラーにもならない「VCBスイッチの誤扱い」を業務中に勤務を外して事情聴取をすることは今まであり得ませんでした。今までは当日の業務に支障がないように同様の事象が発生した場合、業務終了後の退出点呼直前か点呼終了後に事情聴取を行っていました。

また、緊急な事情聴取と会社が判断した場合は、現場の要員に欠員が出ないように代務要員を確保してから事情聴取を行うことはありました。

今回の事象のように代務も立てず、現場の要員が足らなくなるのを認識しながら、あえて事情聴取を行うために代務を用意せず業務を外したことは、出面で業務を行っている仕業検査・申告作業においては重大な安全軽視、労働強化だと私たちは考えます。

他の社員からこの事を指摘された川勝助役は、慌てて「直ちに現場に戻る」旨の指示を行いました。しかし、指摘されるまでの間に時系列等報告書だけはしっかり作成させていました。

**会社は重大な安全軽視、労働強化につながる対応をした理由を明らかにし、謝罪と今後は二度と起こさない対策を明らかにするべきです！！**